

(4) 経済生活

ア 生活の収入源 (Q19a)

「現在の生活費を何でまかなっているか」(すべての収入源)についてみると、日本、アメリカ及びドイツでは「公的な年金」(日本 90.6%、アメリカ 76.8%、ドイツ 85.6%)の割合が最も高くなっている。一方、韓国では「子どもなどからの援助」の割合が 60.7%で最も高く、フランスでは「私的な年金」(63.2%)及び「公的な年金」(61.4%)がほぼ拮抗して高い割合となっている。

時系列でみると、日本では「公的な年金」が増加傾向にある。

収入源の平均個数(回答1から8までの累計)を比較してみると、アメリカ 2.3個、ドイツ 1.9個、フランス 1.8個、日本 1.7個、韓国 1.7個となっている(表26)。

(表 26)

(複数回答) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国					ド イ ツ				フ ラ ンス	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回
1 仕事による収入	41.0	34.3	34.1	35.0	33.4	27.7	27.3	24.0	21.6	25.6	25.5	32.2	21.8	37.4	32.4	34.2	42.0	7.1	6.5	9.7	15.2	5.1	12.5
2 公的な年金	64.6	77.0	81.2	84.0	84.9	90.6	82.1	84.7	84.5	83.0	85.4	76.8	1.7	3.4	4.3	9.5	14.8	82.6	84.4	83.5	85.6	74.9	61.4
3 私的な年金	8.4	5.4	7.8	7.5	11.1	7.1	27.1	29.7	33.4	33.0	39.0	35.5	0.0	0.5	0.5	1.2	6.6	26.2	23.9	22.7	20.3	49.3	63.2
4 預貯金などの引き出し	11.4	16.6	22.7	21.4	22.1	23.8	22.0	24.0	24.0	23.7	25.6	45.0	3.5	6.0	11.0	21.7	31.1	14.4	20.7	36.2	45.1	6.9	28.3
5 財産からの収入	15.6	14.5	13.9	11.4	8.2	6.5	45.1	49.4	43.1	34.3	32.6	34.6	5.5	8.4	10.2	10.1	7.6	10.9	11.8	15.2	17.0	11.9	12.8
6 子どもなどからの援助	29.8	21.8	18.9	15.4	12.0	10.0	2.4	2.2	2.6	3.0	2.7	5.3	78.2	73.6	70.8	59.4	60.7	3.6	2.9	3.8	3.5	3.3	3.7
7 生活保護	1.7	1.4	1.4	0.7	1.0	0.5	3.3	3.2	3.0	1.9	1.9	1.0	2.0	3.2	5.0	6.1	5.7	1.3	1.1	3.6	2.2	4.3	1.5
8 その他	4.8	4.0	3.2	3.8	3.2	3.3	8.2	6.0	8.0	7.0	6.6	1.7	3.6	2.2	0.5	2.5	3.2	6.3	4.2	5.0	0.7	4.7	0.3
1~8の累計 平均回答個数(1~8の全回答数÷全回答者)	1.7						2.3						1.7					1.9				1.8	

イ 生活の主な収入源 (Q19b)

「現在の生活費を何でまかなっているか」(主な収入源)についてみると、韓国を除く4か国で「公的な年金」(日本73.9%、アメリカ54.7%、ドイツ76.9%、フランス49.3%)の割合が最も高く、韓国では「子どもなどからの援助」(37.3%)の割合が最も高くなっている。

時系列でみると、日本では「公的な年金」の割合が増加し、「仕事による収入」の割合が減少している。また、韓国では「子供などからの援助」の割合が減り、「仕事による収入」の割合が増加してきている(表27)。

(表27)

(Q19aで2つ以上あげた方に) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ				フ ラ ンス	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回	
1 仕事による収入	31.3	24.5	23.8	21.6	20.8	17.7	15.2	14.1	10.7	15.5	13.9	19.8	16.2	31.9	26.6	28.1	35.4	5.3	4.6	7.1	10.2	3.5	9.5	
2 公的な年金	34.9	53.4	54.3	57.1	67.5	73.9	53.9	53.0	55.2	55.5	56.6	54.7	0.8	2.5	2.9	5.9	4.5	76.6	77.0	75.8	76.9	64.6	49.3	
3 私的な年金	3.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.0	10.0	10.4	13.6	13.3	16.4	10.1	0.0	0.3	0.5	0.6	2.2	10.9	10.1	9.1	4.0	17.8	34.2	
4 預貯金などの引き出し	2.1	2.2	2.0	2.4	1.6	1.0	1.7	1.8	1.8	1.5	0.9	2.8	2.2	1.9	4.9	9.6	10.8	0.6	1.6	1.3	0.8	1.9	2.7	
5 財産からの収入	5.3	5.6	4.0	2.5	2.3	1.9	14.5	17.4	11.0	8.5	7.0	9.8	3.3	4.6	4.5	5.6	3.4	1.4	2.0	1.9	2.2	3.6	2.9	
6 子どもなどからの援助	15.6	9.0	5.7	4.2	3.4	2.5	0.3	0.2	0.7	0.0	0.1	0.5	72.4	54.8	56.3	43.2	37.3	0.6	0.2	0.2	0.4	1.0	0.7	
7 生活保護	1.2	1.1	0.9	0.3	0.9	0.5	0.7	0.4	1.4	0.3	0.5	0.4	1.2	2.2	3.7	5.0	4.3	0.3	0.6	1.5	1.5	1.2	0.6	
8 その他	3.1	1.9	1.8	2.4	1.7	1.5	3.5	2.4	2.7	1.6	3.1	1.0	3.2	1.6	0.3	2.2	2.1	2.6	1.7	3.1	0.7	3.3	0.0	

ウ 日々の暮らしに困ることがあるか (Q20)

「経済的に日々の暮らしに困ることがあるか」について、「困っている」と「少し困っている」の割合を合計した数値をみると、韓国が49.6%で最も高く、次いで、フランス(40.0%)、ドイツ(29.9%)、アメリカ(27.6%)となり、日本は14.5%と最も低くなっている(表28)。

(表28)

(全員の方に) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ				フ ラ ンス	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回	
1 困っている	3.5	4.0	3.4	3.8	6.0	3.1	9.9	4.8	3.9	4.5	6.7	3.9	36.3	28.0	15.8	23.0	18.1	1.5	1.8	3.2	6.2	22.8	6.1	
2 少し困っている	10.2	11.8	15.6	15.9	17.6	11.4	18.4	13.0	16.3	24.8	24.8	23.7	25.5	31.7	32.8	38.6	31.5	5.7	6.3	16.2	23.7	47.3	33.9	
3 あまり困っていない	26.0	31.0	41.8	38.5	38.0	28.3	23.8	21.1	23.9	25.7	27.9	36.1	30.4	33.7	44.1	31.8	39.0	24.8	28.2	46.6	36.8	24.4	41.7	
4 困っていない	59.1	52.7	38.4	41.5	38.3	57.1	47.3	60.6	55.1	44.3	39.7	36.1	7.4	6.5	7.1	6.6	11.4	67.9	63.0	34.1	33.3	5.1	18.3	

エ 老後の生活費に対する備え (Q21)

「50歳代までに、老後の経済生活に備えて特に何かしていたか」についてみると、各国とも「預貯金」(アメリカ 64.7%、ドイツ 58.8%、日本 55.5%、フランス 46.8%、韓国 33.6%)の割合が最も高くなっている。アメリカでは、「個人年金への加入」(39.8%)及び「債券・株式の保有、投資信託」(39.6%)なども高い割合となっている。フランスでは「個人年金への加入」が31.4%と高い割合となっている。

また、「特になし」の割合は、韓国が54.7%と最も高く、次いで、日本(34.9%)、フランス(32.1%)、ドイツ(26.5%)、アメリカ(19.5%)となっている。

前回調査と比較すると、日本では「個人年金への加入」(27.6% 19.0%)、「老後に働いて収入が得られるように職業能力を高める」(14.7% 6.9%)が減少し、「何もしていない」(26.4% 34.9%)が増加している。

備えの平均個数(回答1から7までの累計)でみると、アメリカ1.8個、ドイツ1.2個、フランス1.1個、日本1.0個、韓国0.7個となっている(表29)。

(表29)

	日本												アメリカ						韓国						ドイツ						フランス										
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回														
1 預貯金					57.9	55.5							66.4	64.7							29.9	33.6					49.4	58.8	46.8												
2 個人年金への加入					27.6	19.0							46.4	39.8							8.9	10.3					7.3	14.7	31.4												
3 債券・株式の保有、投資信託					6.2	6.8							35.5	39.6							0.6	0.7					10.0	12.8	9.7												
4 不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)					7.9	5.2							20.0	19.9							11.7	9.8					10.1	19.5	15.0												
5 貴金属の保有(金、宝石等)					0.2	0.1							3.3	3.0							0.6	1.1					0.4	0.7	0.9												
6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める					14.7	6.9							12.3	8.8							4.0	9.7					5.2	6.5	2.7												
7 その他					1.9	1.9							1.9	1.3							0.0	2.0					2.7	3.1	0.6												
8 特に何もしていない					26.4	34.9							16.7	19.5							59.9	54.7					38.1	26.5	32.1												
1~7の累計 平均個数(1~7まで全回答数÷全回答者)												1.0						1.8						0.7						1.2						1.1					

オ 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度（Q22）

「現在の貯蓄や資産は老後の備えとして十分か」についてみると、「社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない」の割合は、ドイツでは11.1%となっているが、他の4か国（日本1.8%、アメリカ3.7%、韓国0.3%、フランス5.3%）は低い割合となっている。

「十分だと思う」の割合は、アメリカ28.1%、ドイツ22.6%、フランス12.9%、日本12.6%、韓国7.4%の順となっている。前回調査と比較すると、日本では「十分だと思う」（7.2% → 12.6%）が約5ポイント増加している。

一方、「やや足りないと思う」と「まったく足りないと思う」を合わせた割合をみると、韓国が65.8%で最も高く、次いで、日本が45.3%と、アジア2か国は、欧米3か国（アメリカ25.6%、ドイツ26.0%、フランス28.1%）と比較して、足りないと思う割合が高くなっている（表30）。

（表30）

(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 資産保有の必要性がない					2.8	1.8					7.4	3.7					0.7	0.3					22.3	11.1					5.3
2 十分だと思う					7.2	12.6					25.2	28.1					6.3	7.4					18.6	22.6					12.9
3 まあ十分だと思う					30.7	32.2					32.6	38.4					19.8	21.0					29.4	34.3					46.3
4 やや足りないと思う					32.0	30.3					14.7	16.6					30.7	33.7					15.0	17.5					13.5
5 まったく足りないと思う					17.1	15.0					15.0	9.0					36.7	32.1					10.1	8.5					14.6
6 わからない					10.2	8.2					4.0	4.0					5.8	5.5					4.5	5.6					7.4